農産物のご提案書

＿＿＿＿＿＿ 御中

＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿

件名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

平素より大変お世話になっております。このたびは、次のとおり当園の農産物をご提案いたします。

※ 提案書に書いた量・時期・条件は約束として受け取られます。確かめていないことは書かず、「確認中」とします。量・価格・糖度などは、自分で測った値や記録から書きます。

1　ご提案の内容

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

ご提案の内容は、

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

貴社にとっては、

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

2　生産者のご紹介

当園は、

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

※ 始めた経緯や思いを短く書きます。

3　商品について

品目・品種は、＿＿＿＿＿＿ です。

栽培では、

味と食べ方については、

品質のデータとして、

※ 実際にしていることだけを書きます。数字には、測った時期・方法・本数を添えます。

4　出荷できる時期と量

出荷できる時期は＿＿＿＿、供給できる量は＿＿＿＿＿＿＿＿です。荷姿・規格は、

です。

品目・品種	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	備考（量の目安など）

※ ◎ たくさん出せる時期、○ 出せる時期、△ 少しだけ出せる時期、空欄は出せない時期です。量は無理なく出せる目安を書き、天候でどのくらい変わるかも添えます。

5　取引条件

- 価格

- 最小ロット・発注の締切

・ 納品方法・お支払い

※ 細かい規格は「商品規格書」、価格の条件は「見積書」で別に渡すと、この提案書は短く保てます。

6　品質管理と実績

・ 品質管理・保険

・ 認証

・ 取引・販売の実績

・ メディア掲載・受賞

※ 取引先名・媒体名は、先方の了解を得てから載せます。

7　販売のお手伝いと今後のご相談

販売のお手伝いとして、

ほかに、　　も一緒にお取り扱いいただけます。

ご検討のほど、よろしくお願い申し上げます。

　　担当

電話

メール

※ 畑・貯蔵庫・収穫物の写真は別添にするか、このあとに貼ります。

送る前の確認（表示・広告）

このページは提案先に渡さず、送る前の確認に使う。

確認すること	避ける書き方の例	代わりの書き方・用意するもの	確認
栽培方法の言葉	「無農薬」「減農薬」「無化学肥料」	特別栽培農産物の表示ガイドラインで表示しない用語。事実を「農薬：栽培期間中不使用」などガイドラインの書き方で	
有機・オーガニック	認証のない作物に「有機栽培」「オーガニック」	有機JASの格付けをしたものだけ。認証がなければ「有機質肥料を使用」など、していることをそのまま	
認証の範囲	一部の畑・品目の認証を、全部の商品のように書く	認証の名前・対象の品目・有効期間を書く。認証書の写しを用意	
「日本一」「No.1」「最高」	根拠のない一番・最高の表現	比べた相手・調べ方・時期を示せるときだけ。なければ測った事実（糖度・収穫からの日数）で書く	
数字（糖度・日持ち・収量）	測っていない数字、よかった1回だけの数字	測った時期・方法・本数を添える。記録を残しておく	
体への効果	「血圧が下がる」「免疫力が上がる」	病気の予防・治療をうたう表現は書かない。機能性をうたうには届出が必要。味・食べ方で伝える	
他の産地・他社との比較	「〇〇産より甘い」「他の農家と違い安全」	比べられた相手をおとしめない。自分がしていることを具体的に書く	
写真	別の畑・よその商品の写真、盛りすぎた写真	実際に出荷する物と自分の畑の写真を使う	
実績・掲載の書き方	取引先名・媒体名を無断で載せる	先方に了解を得る。了解がなければ業態（県内のスーパーなど）で書く	
消費者向けに転用されるとき	提案書の文言をそのままPOP・通販・返礼品の説明に	直売所・ふるさと納税・通販用の文章は、消費者向けの表示として上の各項目をもう一度確かめる	

表示で迷うことは書かない。